

「旭川水系及び吉井川水系における早期の治水安全度の向上」 について、国土交通省中国地方整備局へ要望を行います

近年の気候変動の影響に伴い、治水安全度を向上させる対策は緊急かつ不可欠なものとなっていることから、竹中正博岡山市副市長がダムや河川の整備について、国土交通省中国地方整備局に対し、要望を行います。

1 日時

令和5年11月30日(木) 16時～

2 場所

中国地方整備局 広島合同庁舎2号館 中国地方整備局長室(広島市中区上八丁堀6-30)

3 要望内容

近年の気候変動の影響に伴う降雨量の増大等を踏まえれば、治水安全度を向上させる対策(洪水調節及び堤防整備)は緊急かつ不可欠なものとなっていることから、以下の項目について要望を行います。

1. 旭川水系においては、洪水調節機能の向上を図るため、旭川ダム、湯原ダム等の既設ダムについて、対策の調査・検討を行い、早期に事業を実施すること
2. 吉井川水系においては、新たに岡山市東区西大寺地先の堤防整備に着手すること

4 出席者

- ・岡山市 竹中正博副市長 ほか関係職員
- ・国土交通省 中国地方整備局 中崎剛局長 ほか関係職員

※本要望内容については、11月15日(水)に大森雅夫岡山市長から、国土交通省・財務省・関係する国会議員へ要望を実施しました。詳しくは別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 下水道河川計画課 都築、岸本 直通086-803-1434 内線4984

「旭川水系及び吉井川水系」における要望について 桃吉郎 のまち岡山

国土交通省・財務省・関係する国会議員に対し「旭川水系及び吉井川水系における早期の治水安全度の向上」に関する要望を行いました。

■実施日 令和5年11月15日(水)

■要望内容

【旭川水系】

- 旭川ダム・湯原ダム等の既設ダムについて洪水調整機能の向上を図る対策の早期の事業実施について

【吉井川水系】

- 一連地区の整備完了を目指すことと、新たな西大寺地先の堤防整備の着手について

■要望先

□国土交通省
こやり 隆史
国土交通大臣政務官 他

□財務省
瀬戸 隆一
財務大臣政務官 他
(同席 逢沢一郎衆議院議員)

□関係する国会議員 8名



こやり 隆史 国土交通大臣政務官へ手交

